

構成団体の取組について

多摩地域ものづくり中小企業に おける女性活躍推進に向けて

平成30年度多摩地域中小企業多様な働き方支援ネットワーク事業

女性活躍推進プロジェクト会議報告

はじめに

女性のものづくり中小企業における採用拡大、育成、登用、定着化等を進めることにより、その活躍を推進することで求職者と企業の距離を縮め、雇用支援と企業の多様な人材活用支援への相乗効果を高めていくことが求められている。中小企業の実態をみると、現場での作業や業務を主に担っているのは女性のパート社員であり、ほとんどの企業で経理や総務を担当するのは、経営者の奥さんや娘さんであり、女性の力や働きに大きく依存している。こうしたことから、女性の目線、女性の意見に基づいて働き方を変えていくことが重要である。

そのため、多摩地域のものづくり中小企業の経営者、労働分野の専門家、金融機関、行政機関、商工会議所等の職員をメンバーとする**委員全員が女性の「女性活躍推進プロジェクト会議」**を設置した。

本報告書は、このプロジェクト会議で平成30年11月から7回にわたって検討した結果をベースに、**ものづくり中小企業における女性活躍推進を検討する意義、女性就業者の採用と確保、受け入れるための就業環境の整備、登用による活躍推進等について現状と問題点、対応が必要な課題を洗い出し、具体的な取り組み方向について示している。**さらに、多摩地域の中小企業が多様な働き方を推進して、女性人材の確保・育成・活躍を推進していくために必要な支援策や、社会的な支援についても触れている。

女性活躍推進プロジェクト会議委員

(敬称略・順不同)		
役 職	氏 名	所 属
委員長	佐川 陽子	佐川社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士
副委員長	藤元 佳子	株式会社平田精機 代表取締役社長
委員	日野 広美	株式会社サンテック 代表取締役社長
委員	浦 明子	株式会社相馬光学 代表取締役社長
委員	鬼塚 睦子	株式会社鬼塚硝子 代表取締役社長
委員	内山 道子	株式会社ユニフローズ 取締役
委員	林 さやか	東京都 産業労働局 雇用就業部 人材確保支援担当課長
委員	園田 智子	都立多摩職業能力開発センター 人材育成課長
委員	望月 幸美	日本政策金融公庫 立川支店 融資第二課長
委員	木村 文香	八王子商工会議所 中小企業相談所 経営指導員
委員	神田 晶江	青梅商工会議所 中小企業相談所 経営指導員

◆プロジェクト会議では自社の事例をもとに活発に議論



女性活躍推進に向けた検討項目

I ものづくり中小企業における女性活躍推進の意義

- 1 今なぜ女性の活躍推進なのか
- 2 女性活躍の道は全ての人の活躍へとつながる
- 3 女性の活躍に取り組んできた中小企業



II 女性就業者の採用、確保について

- 1 採用につながるものづくりのイメージを情報
- 2 ものづくりで働く適性をみる
- 3 企業と女性求職者のミスマッチを防ぐためには時間が必要

女性活躍推進に向けた検討項目

Ⅲ 女性就業者のための受入環境の整備

- 1 ハード面の整備
- 2 ソフト面の整備
- 3 企業内の制度面の整備



毎朝、全員掃除できれいな職場づくり

Ⅳ ものづくりにおける女性就業者の育成

- 1 女性の適材適所と多能工化の可能性
- 2 製造現場におけるパートの正社員化への取り組み
- 3 現場で仕事の楽しさを伝えて育成する取り組み



女性は仕事が丁寧な方が多い

女性活躍推進に向けた検討項目

V ものづくりにおける女性活躍の推進

- 1 ものづくりにおける女性活躍の場づくりへの取り組み
- 2 経営者のビジョンと女性活躍の推進の取り組み
- 3 女性活躍モデルづくりへの取り組み

VI 中小企業における女性人材の確保・育成・活躍に必要な支援

- 1 女性とものづくり現場をつなぐ職場体験支援
- 2 ホームページ作成等による採用のための情報発信支援
- 3 紹介予定派遣による女性人材確保支援の継続
- 4 女性が働くための社会的な支援

女性活躍は全ての人の活躍へつながる プロジェクト会議での主な発言内容

○ 何ををもって「女性活躍」とするのか、きちんと定義しなければいけない

今回のプロジェクト会議では、「女性活躍推進」をテーマに話し合っているが、女性活躍のイメージが「正社員男性並みに働く = 女性活躍」とすると、現在の正社員像に女性を当てはめた考え方になる。「女性活躍」には様々な選択があって良いため、正社員男性の働き方をモデルとする必要はない。



世代を超えて社長から「ありがとう」

○ 過渡期にある女性活躍推進

- 女性が働くということに、柔軟な労働時間の提供という話がたくさん出てきている中、初めに見直さなくてはいけないのは、正社員の男性の働き方である。正社員の時間外労働が減少することで、家事や育児の参加が可能となり、結果として、家事育児の多くを担っていた女性が、働くことが可能になる状況ができる。正社員（特に男性）の働き方が変わらなければ、女性活躍は行われない。
- 人口減少していく中で、総活躍つまり全員参加型の社会を構築する上で、働き過ぎだった正社員とそれをカバーするパートさんという構図を崩す必要がある。なぜかと言うと、正社員のように長時間働くのは、家庭の事情（子育て・介護）により無理であるため、社会進出（正社員化・労働参加）出来ない現状がある。

○ 女性活躍の推進において気をつけなければならないこと

- 女性の活躍推進を検討する際に気を付けなくてはならないことは、現状の否定を行うような提案であってはならないことです。個人が置かれている現状が、専業主婦・パートタイム労働者で子育て中である場合、社会進出（女性活躍）について、様々な事情（家庭の事情）で、社会進出が困難なことがあるため、現状を否定して、社会進出を促すことをしないように、注意しなければなりません。価値観や家庭環境が違うので、差別にならないように女性活躍推進を進めていく大切です。
- 女性の中で、社会に出て働きたいのに働けない環境を抱えているか、若しくは、キッカケがつかめずにいる女性がいる場合には、環境改善やキッカケを促していくことが必要です。政府の一億総活躍では、すべての人が活躍する社会を目指しており、その中の一つとして「女性活躍推進」にも触れています。働きやすい社会の実現という意味で、前向きな捉え方をしています。

○ 子育て、介護への支援が必要

- 本当に女性に社会進出を本気で求めるのならば、託児は絶対です。あと今後は介護です。その時は男女のくくりはないと思いますが、ほんとに本気で考えてほしいなと思う。仕事もして、介護もして、育児もして…。考えてほしい。

職場密着型の児童保育施設、介護施設等の検討

- 工業団地に属しているのですが、工業団地内の時間外の保育所を作る取組みがあって、実は町に相談したが、色々な条件で今は停滞してしまっている。空いている工場は、倉庫にしようとしていた建物で、かなりきれいな建物。4時で一旦幼稚園保育園を終わった後の夜間に、社会的に女性も時間外に働かなくてはならない、残業もできる、出張もできる、というものをつくろうという取組み。
- 飲み会や夏休みといったとき、子育てしていて、まだ手が離せないけど学童もないしどうしようもない時は、お子さんを会社に連れてきてもらい、一部屋開放して宿題をやったり、自由に過ごしてもらいました。私自身も子供を職場に連れて行きました。本当に女性に社会進出を本気で求めるのならば、託児は絶対です。あと今後は介護です。その時は男女のくくりはないと思いますが、ほんとに本気で考えてほしい。
- 母子でどうしても働かなくてはならないとなったら外に出ないといけない。家でできる仕事であればよいが、そういうわけにいかない。母子は優先的に保育園に入れるが、今後増えていくと思うし、介護の人も加われば、国レベルでケアしていかないと間に合わない。

2) 男性の意識改革を促進

《プロジェクト会議での主な発言内容》

- 今どきの考え方に向き合っている人でも、まだお茶入れとトイレ掃除に女性を持ってくるという考え方を持っていることにびっくりした。
- これは受け入れ側もそうだし、今既に働いている人たちの改革を進めるべきだと思っている。今までの意見は女性の意識が悪いとか言っていたが、ものづくり企業の技術者には男性が多いので、東京都の取り組みの中に**男性の意識改革**への支援を入れてもらいたい。

男女平等参画推進
女性も男性も輝くT O K Y O会議

公益社団 東京都看護協会の取り組み

令和元年10月10日（木）

 公益社団法人
東京都看護協会
常務理事 黒田 美喜子



東京都看護協会とは

保健師、助産師、看護師及び准看護師が看護に関する教育と研鑽に根ざした専門性に基つき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、もって人々の健康な生活の実現に寄与することを目的とする

東京都看護協会の主たる事業

- 1 看護職の資質の向上に関する事業
- 2 看護業務の開発・改善及び情報の提供に関する事業
- 3 看護職の人材確保と定着推進に関する事業
- 4 在宅ケアの推進と支援に関する事業
- 5 **地域住民の保健福祉に関する事業**
- 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

地域住民の保健福祉に関する事業

■次世代育成支援活動

両親学級 すくすくフェスタ すくすく広場

■地域住民健康支援活動

まちの保健室 看護フェスタなど

■災害支援ナースの育成と支援活動

災害支援ナースの登録推進、研修など

次世代育成支援活動

両親学級 助産師の専門性を活かした活動

平成26年度 東京都女性活躍推進会議太鼓判事業奨励賞受賞

平成11年（1999年）より月に2回開催（無料）

年間500～600組の妊婦とそのパートナーが参加



次世代育成支援活動

すくすくフェスタ

年に1回開催（無料）

当協会の両親学級を受講した親子を対象に育児のための講演会、
育児相談、あそび（ベビーフラダンス、手形、ヨガなど）、栄養相談など



次世代育成支援活動

すくすく広場

看護師・保健師・助産師・小児専門
看護師等で企画運営

1～2カ月に1回開催（無料）

都内在住の未就学の親子を対象に育児のための
講演会、育児相談、あそび、パパ座談会など
（今後は医療的ケア児も対象として検討中）

東京都看護協会
平成31年度
子育て支援委員会主催

TOKYO
NURSING
ASSOCIATION

子育て応援！
すくすく広場

東京都看護協会では、生後3か月～就学前までの都内在住・在勤の親子を対象に、親子の健康や子育てに関する講演、親同士および看護職者との交流、個別相談などの子育て支援イベント「すくすく広場」を開催いたします。親子でゆったりと過ごせるイベントです。どうぞお気軽にご参加ください。

**会費
無料**

対象 都内在住・在勤の生後3か月～就学前までの親子
定員 30組
日程 5回開催 土曜日 ☆5回中でお好きな会にご参加ください。
【第1回】令和元年9月7日【第2回】令和元年11月23日【第3回】令和元年12月21日
【第4回】令和2年1月11日【第5回】令和2年2月29日
時間 13:30～15:30（受付13:00～）
会場 東京都看護協会 大研修室1A（東京都新宿区西新宿4-2-19）
申込 東京都看護協会ホームページよりWebにて申込み
☆東京都看護協会TOP>都民の皆様へ>次世代育成>すくすく広場



地域住民健康支援活動

まちの保健室

6 地区支部の公共施設や駅等で健康チェック・健康・介護相談

看護フェスタ

新宿西口広場で毎年5月の土曜日に多参加団体とともに
看護の日の周知と健康相談、介護相談、健康チェック



災害支援ナースの育成と支援活動

災害支援ナースの登録のための研修

1. 東京都看護協会に災害支援ナースとして登録し、看護職の団体の一員として被災地に派遣される看護職
2. 被災地への派遣は、日本看護協会災害時支援ネットワークにより、日本看護協会が都道府県看護協会と派遣調整し実施

役割：発災後72時間以降の病院への支援や避難所の住民の健康管理を行う。



女性が多い職業ですが、年々男性も増加！

ダイバーシティ東京都看護協会を目指します。

